

# Red Hat Enterprise Linux 7.8 への LifeKeeper for Linux v9.5.0 DataKeeper インストール手順

作成日：2020年5月12日

Red Hat Enterprise Linux 7.8（以下「RHEL7.8」という）や CentOS 7.8、Oracle Linux 7.8 上で LifeKeeper for Linux（以下「LK」という）をインストールする場合、v9.5.0 をご利用いただくことができます。ご利用際には本資料の手順に従ってインストールを実施してください。なお DataKeeper を利用しない場合や Single Server Protection v9.5.0 をご利用の場合は本手順の実施は必要ありません。また、LK v9.5.0 の次リリースバージョンから本手順の実施は必要なくなります。

## 対象環境

LKバージョン : v9.5.0

オペレーティングシステム : Red Hat Enterprise Linux 7.8  
CentOS 7.8  
Oracle Linux 7.8

※DataKeeper を使用する場合のみ、この手順を実行してください。

## インストール手順

1. 本資料と同梱されている「lk-rhel7\_8-support」ファイルを、LK v9.5をインストールするサーバーの任意の場所に配置してください。本資料の手順では /root 以下に置かれているものとします。それ以外の場所の場合はパス名を適宜読み替えてください。
2. 通常のLKのインストール手順に従い、setupスクリプトを実行する時点まで準備してください。
3. LKをインストールするためにsetupスクリプトを実行する際、以下のように実行してください。

```
# setup --addinfo /root/lk-rhel7_8-support
```

4. 以後通常の手順の通りsetupスクリプトを完了させてください。

RHEL7.8にLK v9.5.0 をインストールする手順は以上です。